

ブラジル政治情勢（6月の出来事）

【内政】

（1）新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会

6月、新型コロナウイルス感染症対策に関する議会調査委員会（CPI）の証人喚問及び参考人招致が行われ、ニーゼ・ヤマグチ医師（1日）、ルアーナ・アラウージョ医師（2日）、ケイローガ保健大臣（8日）、エルシオ・フランコ前保健省次官（9日）、パステルナッキ・サンパウロ大学研究員及びマイエロヴィッチ元衛生監督庁（ANVISA）長官（11日）、カンペーロ前アマゾナス州保健局長（15日）、ヴィッツェル前リオデジャネイロ州知事（16日）、オズマール・テーハ下院議員（22日）、ヴェルネッキ・アムネステイ・インターナショナル伯事務局長及びハラール・ペロタス連邦大学教授（24日）、ルイス・ミランダ下院議員及びリカルド・ミランダ保健省ロジスティクス局輸入部長（25日）、ヴィエイラ・ドス・サントス・アマゾナス州議会議員（29日）並びに実業家のカルロス・ウィザード氏（30日）が供述を行った。

（2）ボルソナーロ政権支持デモの発生

6月12日にサンパウロ州サンパウロ市とジュンジアイー市の間において、ボルソナーロ大統領を支持するバイク車列デモが行われた。また、6月26日、サンタカタリーナ州シャペコー市において、同大統領支持バイクデモが行われた。両方のデモにおいて、ボルソナーロ大統領が車列を先導した。

（3）反政府デモの発生

6月19日、25州都及び連邦直轄区（DF）において、反ボルソナーロ政権及び新型コロナウイルスワクチンの擁護を訴えるデモが発生した。

（4）閣僚の交代

6月23日、サレス環境大臣が辞任した。次期環境大臣には、ジョアキン・レイテ環境省アマゾン・環境サービス局長が任命された。

（5）ボルソナーロ政権の支持率

（ア）6月11日、IPESPE社（XP Investimentos社委託）による世論調査の結果が発表されたところ、ボルソナーロ政権の支持率は26%（前回調査：29%）に下落し、不支持率は50%（前回調査：49%）に上昇した。

（イ）6月24日、IPEC社による世論調査の結果が発表されたところ、ボルソナーロ政権の支持率は24%（前回調査：28%）に下落し、政権発足後の最

低水準を記録した。不支持率は49%（前回調査：39%）に上昇。

【外交】

（1）フランス外務大臣の国際会議への出席

- （ア）6月1日、フランス外務大臣は、BRICS 外相テレビ会合に出席し、ワクチン製造における協力及び Covishield の輸入アクセス等を各国に求めた。
- （イ）6月29日、フランス外務大臣は、G20 マテラ外相及び開発大臣関連会合にリモート形式で出席し、現在の危機に対して最良の形で対応するため、また、保健や貿易といった将来的な課題に備えるため、国際制度の改革の必要性を強調した。

（2）ファリーア通信大臣の訪米

6月8～10日、ファリーア通信大臣が米国を訪問し、米務省、国家安全保障会議（NSC）及び国土安全保障省との間で5G技術について協議した。

（3）伯の国連安保理非常任理事国への選出

6月11日、伯外務省は、伯が2022～23年の国連安保理非常任理事国に選出された旨のプレスリリースを発出した。伯が国連安保理非常任理事国を務めるのは11度目となる。

（4）アルテミス合意署名式典の開催

6月15日、大統領府において、伯のアルテミス合意署名式典が開催され、ボルソナーロ大統領立ち会いの下、ポンテス科学技術革新大臣が合意文書に署名した。

（5）対キューバ制裁解除に関する国連総会決議

6月23日、伯は、キューバ制裁解除に関する国連決議において棄権票を投じた。

（6）対ベネズエラ国境封鎖の解除

6月24日、伯政府は、対ベネズエラ国境の封鎖を解除する旨の政令第665号を発出した。

トピックス

（1）「日本人移住の日」に際して：菅総理大臣、茂木外務大臣、山田大使の寄

稿、伯日議連による記念動画配信、ハローキティとの「大使とカフェ」

(ア) 6月18日の「日本人移住の日」に際し、菅総理大臣、茂木外務大臣、山田大使は、それぞれニッケイ新聞に寄稿し、厚い信頼関係で結ばれた現在の日伯関係の礎を築いた日系社会の皆様へ敬意を表しました。記事全文は、以下からご覧ください。

・菅総理大臣：

<https://www.nikkeishimbun.jp/2021/210618-21especial.html>

・茂木外務大臣：

<https://www.nikkeishimbun.jp/2021/210618-22especial.html>

・山田大使：

<https://www.nikkeishimbun.jp/2021/210618-23especial.html>

(イ) 伯日議連（会長：ニシモリ連邦下院議員）の主催で、「日本人移住の日」を記念する動画がオンラインで配信されました。同動画には、日本政府からは、麻生太郎副総理（日伯議連会長）、河村建夫議員（日伯議連事務局長）、及び山田彰駐ブラジル日本国大使が参加しました。

<https://www.youtube.com/watch?v=A1tlPr52xoA>

(イ) 当館のオンライン動画企画「大使とカフェ」にハローキティを招待し、ハローキティと山田駐ブラジル日本大使との間で日系社会をテーマに対談を行う動画を公開しました。

<https://youtu.be/FnXyMNFfoqw>

(2) 橋場総領事のブラジル企業訪問（在リオデジャネイロ総領事館）

6月16日、リオデジャネイロ市所在のIMBEL社リオ工場を橋場総領事が訪問した。今般の訪問はブラジル日本無線（JRC do Brasil Empreendimentos Eletrônicos Ltda）とIMBEL社がLTE無線通信機器に関する協力を合意したことを受けたもの。

訪問に際し、橋場総領事より両社の更なる関係強化と発展、日伯友好の進展等を祈念する祝辞を述べるとともに、同社の通信機器に関する研究開発・製造部門の視察を実施した。



IMBEL・リオ工場にて



通信機器の製造現場視察

齊藤・JRC do Brasil 社長、Mattioli・IMBEL 社長らと記念撮影

(3) 日本酒紹介イベントの実施（在リオデジャネイロ総領事館）

6月10日、在リオデジャネイロ総領事館は、12日の「Dia dos Namorados（恋人の日）」に先立って、「E-NAMORADOS COM SAKE（日本酒に恋して）」と題し、日本酒の魅力を紹介するオンラインイベントを開催した。

イベントでは、飯田アレシャンドレ氏（酒サムライ）が日本酒の基礎情報、日本酒に合う料理等を紹介し、ロベルト・マックスウェル氏（日本在住ブラジル人日本酒ジャーナリスト）は自身が酒蔵を訪問した際の動画を発信するとともに、酒蔵見学等を通じた日本観光の魅力についてレクチャーを行った。

橋場総領事の冒頭挨拶の他、永田展之兵庫県ブラジル事務所長が挨拶を行い、リオ市と神戸市の姉妹都市関係を踏まえた兵庫県産日本酒の紹介、兵庫県紹介動画を発信した。

本イベントは以下のリンク先にて公開中。

<https://www.youtube.com/watch?v=ogT7E9UyE2Q>

